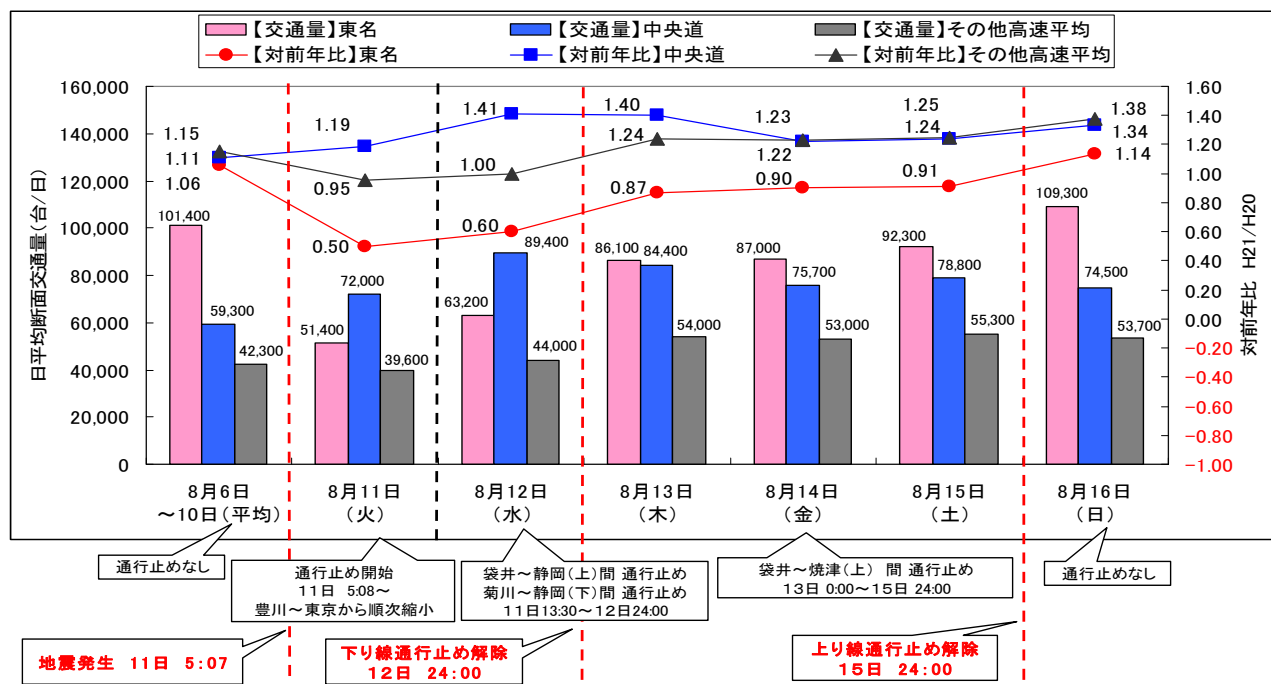


3. 地震による東名高速と中央道の交通状況の変化

8月11日(火)午前5時7分頃に発生した駿河湾を震源とする地震の影響で、東名高速道路の一部区間が通行止めになったことによる交通状況の変化についてまとめました。

1) 交通量の状況

- 東名の交通量は、通行止めをしていない期間(6日～10日)で前年に比べ約6%増加していましたが、通行止めをしていた期間(11日～15日)では、約9%～50%、平均で約25%、約25千台/日減少しました。
なお、この5日間の通行止めにより当該区間を通行できなかった(影響を受けた)と思われる台数は、約47万台と推定されます。
- 迂回路となった中央道の交通量は、通行止めをしていない期間(6日～10日)で前年に比べ約11%増加し、通行止めをしていた期間(11日～15日)では、約19%～41%、平均で約29%、約18千台/日と更に増加しました。



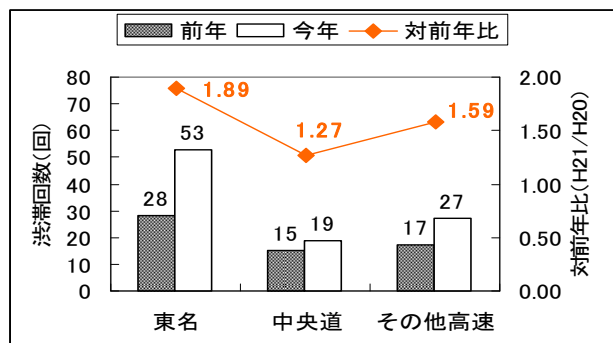
※対比する前年は、平成20年8月7日(金)～17日(日)の期間

2) 渋滞の状況

- 東名の渋滞は、通行止めをしていない期間(6日～10日、16日)で前年に比べ約90%増加しましたが、通行止めをしていた期間では、約40%減少しました。
- 迂回路となった中央道の渋滞は、通行止めをしていない期間(6日～10日、16日)で前年に比べ約30%の増加でしたが、通行止めをしていた期間(11日～15日)では、約70%と更に増加しました。

<10km以上の渋滞回数>

【通行止めをしていない期間(8月6日～10日、16日：6日間)】



【通行止めをしていた期間(8月11日～15日：5日間)】

